

女子高校における「土曜日の教育活動」

～ウェルビーイングな生き方のために～

教育実践高度化専攻 学校マネジメントコース

磯部 一美

私の勤務する学校は、今年創立 122 年を迎えた私立の女子高校である。これまで真面目で大人しく従順な生徒の姿を“当たり前”として教育活動を行ってきたが、時代の大きなうねりの中で、生徒自身が女性として「自分らしさ」（＝ウェルビーイングな生き方）を追求できる環境を整備しようと、2023 年度より「土曜日の教育活動」を実施することとした。

「土曜日の教育活動」は、文部科学省が推奨するところの教育活動の一形態である。本研究の目的は、土曜日の学校を生徒のウェルビーイングな〈学びの場〉としていかに設定するか、この新しい〈学びの場〉を通して、生徒自身がいかにウェルビーイングを実現するか、ということである。

近年、女性の生きづらさが大きな社会問題となっている。固定的な性別役割分担、教育格差などがこれにあたるが、本研究はそうした問題を一足飛びに解決する方法ではない。だが「土曜日の教育活動」を通して生徒が気づいた「自分らしさ」や「自分はどう生きたいのか」という問いが、その後の生徒たちのウェルビーイングな生き方につながっていくであろうと考えている。